



やまなし

第75号 2010年10月28日(年3回発行)

「障害者文化展の紹介」

社会局事業部
障害者文化展担当 中田 貴子

まず初めに県土会の事業部の仕事を紹介させていただきます。事業部では、主に3つの委託事業を行っています。1つ目に障害者文化展、2つ目にねんりんピック、3つ目に機能訓練事業というものがあります。今回はその中の障害者文化展についてみなさんに紹介したいと思います。

障害者文化展は今年で第13回目を迎えました。山梨県障害者福祉協会が主催し、平成22年9月1日～9月6日までの6日間、山交百貨店の5階催事場で行われました。主旨は、障害をもつ人達の日ごろの芸術文化活動の成果を示す作品や、趣味や技術を活かした作品、リハビリテーション活動の中で作成した作品を展示することにより、県民の障害と障害者福祉に対する理解を深め、障害をもつ人が障害を克服し、自立と社会参加への意欲を高めることを目的として行っています。

もくじ

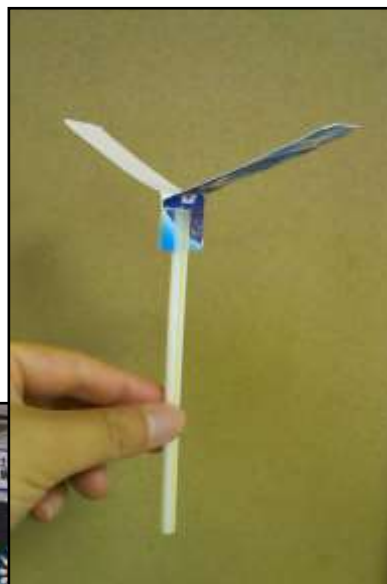
- 1p 障害者文化展の紹介
- 3p 身障だより
- 5p 精神科だより
- 7p 活動紹介
- 9p 理事会だより
- 12p 広告
- 15p 各種申請書変更のお知らせ
・編集後記



障害者文化展にはふれあいコーナーというスペースが設けられ、視覚障害の方による点字教室や聴覚障害の方による手話教室があります。また、他者との交流を深める目的で、簡単な小物作り教室があります。事業部の仕事は、作品の搬入・搬出の他に、この小物作りの内容検討を行い実施しています。その際に作業療法の仕事内容などを説明しOTの啓蒙活動の場として活用させていただいています。このふれあいコーナーでは、各施設から1名が会場当番として、今年は計11名の方々に協力いただきました。

今回は、「紙パックで作る竹とんぼ」作りを行いました。(下記写真)ストローに加工した紙パックを挿してできあがる簡単なものです。会場当番のスタッフの話では、「参加した方は実際に竹とんぼを飛ばし楽しそうでした。」「名前を書いて持ち帰る方もいました。」「体験は行わなくても、子どもや孫に説明書を持ち帰りたいという方もいらっしゃいました。」などの報告がありました。また、スタッフ自身から「会場当番を行い、たくさんの障害者の方々や素敵な作品に触れられる機会が持て、とても良い時間となりました。」「普段なかなか交流する機会がない視覚障害や聴覚障害の方々と交流できて貴重な体験が出来ました。」との感想が聞かれました。

私自身、この仕事をさせてもらう中で様々な経験ができました。他病院・施設の方と知り合うことや、山梨県障害者福祉協会の方との交流、実際に会場当番を行い様々な障害を持ち地域・施設で生活している方々との交流など、普段の業務では決して経験できないことを学ぶことができました。また、年々作品の質が高いものとなっており、みなさんが工夫しながらこの文化展に向けてがんばっていることが素晴らしいと思います。今年は7施設から33作品が集まりました。どの作品も様々な工夫がしてあり、作った方の熱意が感じられました。みなさんもぜひ機会を作り、来年の障害者文化展に足を運んでみてはいかがでしょうか。来年もたくさんの出品をお待ちしております。



身障だより

石和温泉病院
金子 瞳

石和温泉病院は甲府盆地の中心に位置しており、病室からは山が一望でき、近くには平等川も流れています。春には病院の庭の桜が咲き乱れ、夏には蝉が鳴き、秋には柿が実り、冬には雪が積もることもあり、とても四季を感じられる病院でもあります。



昭和 39 年全国に先駆けてリハビリテーション医療を展開。豊富な温泉を利用した水治療も取入れ、閑静な環境の中、安全に安心して治療に専念できる医療の提供を目指して、日々取り組んでいます。当院では、予防医療からリハビリテーション、そして在宅医療までをトータルに考え運営しています。回復期リハビリテーション病棟（128 床）・療養型病床（54 床）において、入院されている患者さん一人一人の生活を考え、身体の痛みや心の不安を和らげ、社会や家庭で幸せな毎日が過ごせるようお願い努力しています。

作業療法室のあるリハビリテーション科は作業療法士 21 名、理学療法士 36 名、言語聴覚士 7 名で構成されています。OT は回復期リハビリテーション病棟を主に担当し、対象となる疾患は脳血管疾患、整形疾患、廃用症候群、神経難病が主となっています。年齢も 16～99 歳と幅広く入院されています。

平成 22 年 4 月より PT が先行して回復期 365 日リハを開始、続いて 6 月より OT も 365 日リハ導入となり、よりいっそう充実した体制になりました。最近ではセラピストが自分の担当だけを見るのではなく、病棟担当のセラピスト達が病棟全体の患者さんへ目を配り、病棟全体でフォローをするような様子が見られてきています。また病棟研究なども行っており、昨年からは病棟内にて



毎週 1 度、レクリエーションを行う事や ADL への積極的な介入、疾患とアクティビティの関連性の検証など、さまざまな取り組みも始まっています。

さて、作業療法室ですが、21 人いるメンバーの中でも 1 年目 5 名、2 年目 6 名と若い年齢層が半分を占めています。また男性 15 名、女性 6 名で、珍しく男性作業療法士が多い職場となっています。女性である私としては、もう少し女性のうるおいがほしい！！と思い、日々、先輩と話しています。しかし室長が女性であるということもあるためか、女性もしっかり意見を言う方が多く、人数は少ないですが、存在感はあります。そのためか石和の女性は強くなる！！という噂話があるとかないとか。



広々としていた作業療法室も最近ではメンバーも増えたこともあり、プラットホームに患者さんが座りきれないということもよくみられるようになってきました。当院の作業療法室は治療器具の種類が多いとは言えませんが、少ない治療器具の中で、各セラピストがいろいろな使い方を考え、工夫し、患者さんへの介入を行っているため、一つの治療器具でもいろいろな使い方をするセラピストがいます。ほかのセラピストの介入をみていると「この治療器具はこんな使い方でもできるんだ！」と新たな発見や驚きなどもよくあります。このようにメンバーが増えたことで、さまざまなアイデアや意見もでるようになってきたので、これからも各セラピストがお互い高め合って成長できたらいいのではないかと思います。

これからも県士会活動や研修会、学会などでお世話になると思います。今後とも石和温泉病院作業療法室をよろしくお願いいたします。



<日本高次脳機能障害学会 第34回学術総会サテライト・セミナー>	
テーマ	記憶障害の症候学
会場	大宮ソニックシティ大ホール(埼玉県さいたま市)
日程	平成22年11月20日(土)
申込方法	平成22年9月1日(水) 申込受付開始予定
問合せ先	日本高次脳機能障害学会(旧日本失語症学会)事務局 〒133-0052 東京都江戸川区東小岩2-24-18 江戸川病院内 TEL:03-3673-1557 FAX:03-3673-1512 E-mail:jsa1977@sepia.ocn.ne.jp URL:http://www.higherbrain.gr.jp

精神科だより

当事者ボランティアについて

住吉病院（レク療法室）

近藤考志

自分は住吉病院に入社して14年目になりますが、デイケア勤務が10年間と長く、その間OTの集まりから足が遠のき、精神科OTでも知らない方が多いと思うので、自己紹介がてら、今行っている取り組みについて紹介させていただきます。現在は、レク療法室という部署に配属となり、2年が経過しようとしていますが、主な業務としては、病院全体で月に1回行われるイベントと、地域ふれあい交流事業(病院と地域の交流を目的とした県の事業、以下交流事業)の企画運営を行っています。普段は、作業療法室のスタッフとOTのプログラムに入りながら、フリーの時間を利用してレク業務を行っています。振り返ると前任者の松田OTRからひきついでからの1年間は、何とか無事にイベントを運営することで精一杯でしたが、2年目になると少しゆとりも出てきて、自分の構想を少し盛り込めるようになってきたような印象があります。今自分が携わっている業務の中の一つに、『ふれあいグループ』という音楽を通じた当事者ボランティアの方(障害を持った)達の取り組みがあるのでご紹介します。

事の発端は、前記の交流事業の一つで毎年行っている『ふれあいナイトコンサート』で、例年高校の吹奏楽部など慰問で発表してくれる代わりに、自分たちのオリジナル曲を発表してほしいと2名のメンバーさんが申し出をしてくれたのがきっかけです。結局、心当たりのあるメンバーさんに声かけして、発表の場を求めていた方4名と、司会希望の目立ちたがり屋の方1名が出演を希望してくれ、コンサートを2部構成として、1部でふれあいG、2部で地域ボランティアのアカペラグループが発表してくれることとなりました。ふれあいG構成メンバーは、それぞれ一般就労・授産・デイケアなど様々な活動を日中されているので、練習は午後3:30～、決めた日にちに、『調子がよくて都合付いたら来る』というふんわりしたスタンスで行いましたが、モチベーションもあつたせいか、休みは少なく練習されていました。

しかし、いざやるとなると、自分は『コンサートが盛り上がるか』メンバーも『上手く演奏出来るか』少し不安になりましたが、その時、院長が『別に失敗してもいいじゃない』と言さりと言ってくれ、肩の力を抜く事が出来ました。また、『別に、失敗しても、そこから何か学べば良いし、嫌なら無理せずやらなければ良い話じゃないの?』とも話してくれ、その考え方は、院長→自分→メンバーと共有されていき、お互い力まずにチャレンジできる雰囲気が出来たように思います。

結局、コンサートは120名を超えるお客さんの前での演奏となりましたが、みなさん力を発揮し、会場からも手拍子や拍手が多く聞かれ、あたたかい雰囲気の中で終わることが出来ました。また、「聞いている方に楽しんでもらえたようで、うれしかった。」と素直な感想がメンバーから多く聞かれ、また応援したいという気持ちになりました。

その後も、交流事業で行った『健康まつり』で、会場設営・フリーマーケット・野菜ジュース試飲会・抽選会など職員と同じように実行委員として活躍をしてくれ、イベント後は打ち上げで、ファミレスでお茶をしながら、次はどんな事がしたいかなど話し合いました。この頃から「今度は、こっちから他の施設に出向いて、音楽で楽しんでもらいたい」など病院内だけではなく、外にも意識が向いたコメントが多く聞かれるようになりました。そこで、検討した結果、病院の盆踊り大会で、地域の方の前で発表し、機会があったら呼んでほしいとチラシを配るなどの試みもしてみました。今のところ、連絡を待っている状態ですが、もしこれをお読みになっている施設で、レクリエーションの時間などありましたら、呼んでいただくと、うれしいです。出来る内容は下記に、記載させていただきました。

また、その他、ダンスパーティーや合唱コンクールなどのイベントでも、発表や審査員を務め、場を盛り上げてくれたりしました。こちらが活動の場を提供しているつもりが、いつの間にかお世話になっている感じだと思いつつながら、楽しくコラボさせてもらっています。

最後に、メンバーさんが考えたグループのモットーに『Getting better』という言葉があります。それは、『段々良くなる』という意味らしいですが、前向きにチャレンジしようとする方たちと出会え、自分を必要としてくれ、応援できることはこちらも元気にさせられます。ありがたいと思いつつ関わっていきたいと思います。

次の発表は、11月開催の『心の健康を考える集い』で発表する予定です。

グループ演奏

- ①また君に恋してる（いいちこ）
- ②チェッコリ・コラソソデメロン
- ③真っ赤な太陽
- ④夢の中へ

*オリジナル曲多数

ピアノ演奏

- ①アメージンググレイス
 - ②タイタニックのテーマ
 - ③春よ来い
 - ④粉雪
 - ⑤ジュピター
- その他：ジブリ関係

お問い合わせ

住吉病院、レク近藤まで

Tel 055-235-1521

mail reku-shitu@sumiyoshi-hp.or.jp

活動紹介 学術局生涯教育部

生涯教育部長
住吉病院 金丸聡志

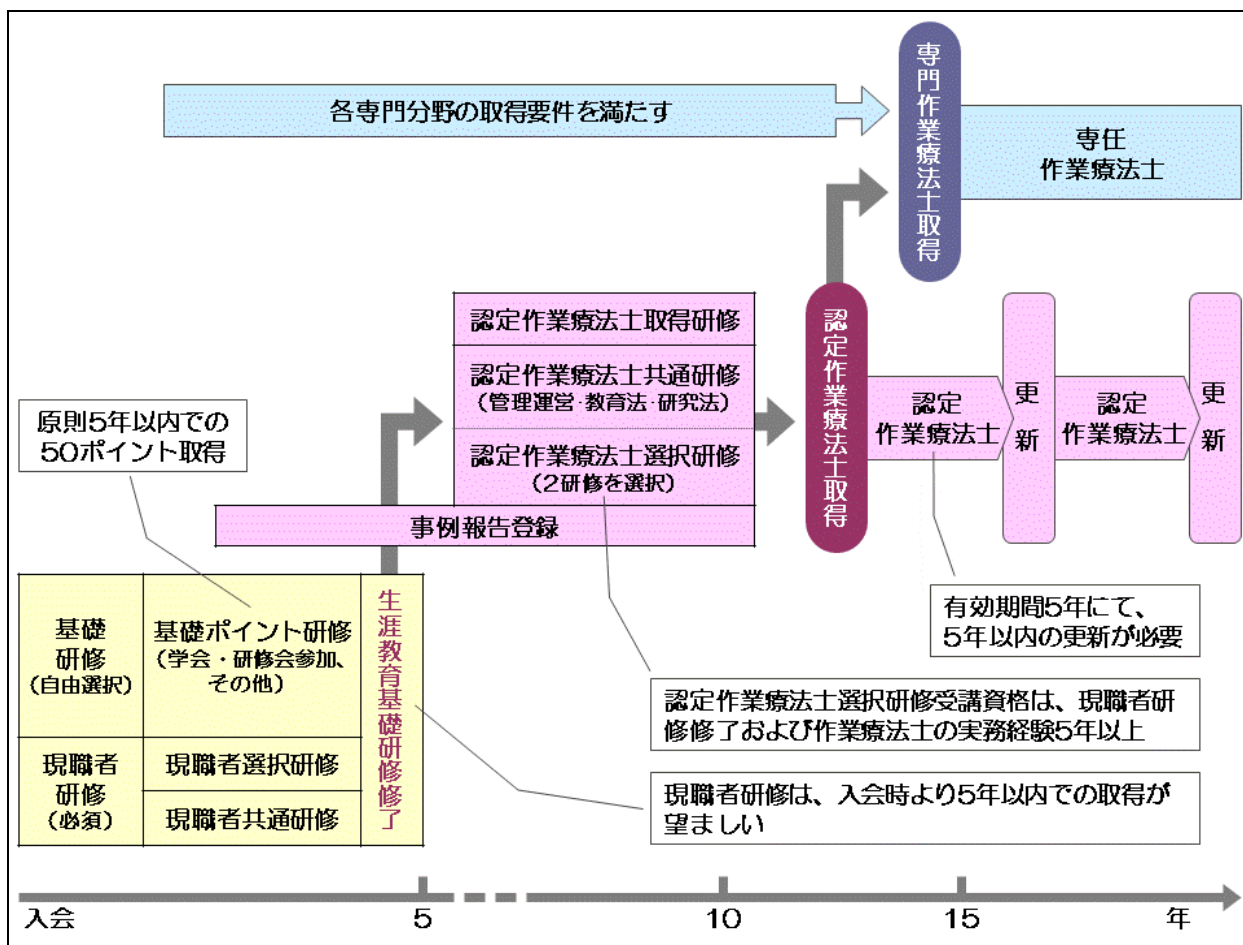
今回は、生涯教育部の活動を紹介します。

生涯教育部は日本作業療法士協会の生涯教育制度に沿って、年度初めに新人 OTR に向けた生涯教育制度の説明会、毎年 10 テーマの現職者共通研修・現職者選択研修（今年度は身障・精神領域）の企画・運営を行なっています。

各研修会の企画では皆さんが関心を持って参加し、多くの情報を得られるようにと様々な先生方へお願いし、貴重な話をして頂いています。毎回多くの参加者が集まり、研修を運営出来ています。ありがとうございます。

生涯教育制度は会員の自己研鑽や作業療法の専門性・質の向上を目的に構築されています。この制度を活用し、知識と技術を向上させ、より良い作業療法を行っていきましょう。

日本作業療法士協会に入会すると郵送されてくる“生涯教育手帳”には、毎回ポイントが押され認定作業療法士や専門作業療法士取得に繋がっていきます。



※詳しい生涯教育制度については山梨県作業療法士会 HP・生涯教育手帳を参照下さい。

ここで、生涯教育部から研修に参加される皆様へのお願いです。

① 手帳を持参して下さい

当日参加された皆さんには、生涯教育手帳にポイントが加算されます。参加証明証の発行もしておりますが、各自手帳を持参して頂くと手続きがスムーズです。

② 受講記録の年月日、テーマ欄は各自で記入してください

研修会には多くの受講者の方が見えるので生涯教育部では、ポイントを捺印するのみとなっています。各自で研修の年月日、テーマ名の記入をお願いしています。

③ 研修会によっては生涯教育部員がいない場合もあります。

参加証明証を持ち帰り、次回研修会参加時に受付に提示して下さい。

現在、生涯教育部では青木理事をはじめ以下16名の部員で運営しています。

今後もお互いに自己研鑽出来るような研修内容を考えていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

＜合同会社gene主催シンポジウム 中枢神経疾患へのリハアプローチの再構築＞	
主 催	合同会社gene
趣 旨	日本において理学療法士・作業療法士が誕生して40年以上が経過する。果たして、我々、理学療法士・作業療法士の中枢神経疾患へのアプローチは40年分の進化をしているのだろうか？ 今回のシンポジウムの目的は、日本における中枢神経疾患へのアプローチのいくつかを紹介し、そして各アプローチ(ボバースコンセプト・認知神経リハビリテーション・OTセラピー)の共通点を探り、そして、我々セラピストが中枢神経疾患の何に対して何を行っているのかの手がかりを見つけることである。それら各アプローチの共通点を探ることで、セラピストが効率的にアプローチ方法を学べるように道筋をつけることこそが、今回のシンポジウムの目的である。
開催日	平成22年11月7日(日)10:00～16:30(受付9:30～)
会 場	東京ビッグサイト会議棟7F 国際会議場 (〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト URL: http://www.bigsight.jp)
定 員	200名
参加費	4,000円(当日会場にてお支払いください)
申込方法	募集要項のQRコード・入力フォーム(https://fs219.xbit.jp/n954/form7/)、もしくは、合同会社geneのホームページ(www.gene-llc.jp)からお申し込みください
問合先	合同会社gene 担当 張本 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田二丁目6番18号 グラシア3号館1階 TEL:052-242-2800 FAX:052-242-2811 E-mail: hari@gene-llc.jp URL: www.gene-llc.jp

理事会だより

平成22年度6月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年6月28日(月)

会場：山梨川北リハビリ病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、川崎、中村、三瀬、佐藤、長坂、山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野、関谷：15名

1.事務局(三瀬)

- 1)山梨県社会福祉協議会より、介護機器普及事業運営協議会委員の推薦と会議のお知らせを受託。推薦委員として、山本 伸一 氏。
- 2)山梨県川北リハビリ病院施設協議会より、地域川北リハビリ従事者事業検討委員会の委員の推薦受託。山梨県作業療法士会より、山田 稔 氏(富士温泉病院)を推薦。

2.社会局(山田・宇野)

<渉外部>

研修会の予定

テーマ：福祉の仕事セミナー

日時：平成22年8月10日(日)

会場：山梨県福祉プラザ

講師：小沢 健一 氏(健康科学大学)
山田 稔 氏(富士温泉病院)

<厚生部>

平成22年5月26日(水)に新人・転入者歓迎会を開催。参加者：180名(新人45名)

3.学術局(松田・青木・工藤)

<生涯教育部>

今年度の活動計画報告

1)現職者共通研修

①テーマ：作業療法生涯教育概論

日時：平成22年7月13日(火)

会場：山梨川北リハビリ病院

講師：山本 伸一 氏(山梨川北リハビリ病院)

②テーマ：保健・医療・福祉と地域支援

日時：平成22年8月3日(火)

会場：住吉病院

講師：富士宮 秀紫 氏(住吉病院)

③テーマ：作業療法における協業・後輩育成

日時：平成22年8月29日(日)

会場：健康科学大学

講師：中村 雄 氏(健康科学大学)

④テーマ：職業倫理

日時：平成22年8月29日(日)

会場：健康科学大学

講師：関谷 宏美 氏(甲州川北リハビリ病院)

⑤テーマ：エビデンスと作業療法実践

日時：平成22年9月8日(水)

会場：山梨川北リハビリ病院

講師：丹羽 正利 氏(健康科学大学)

⑥テーマ：作業療法の可能性

日時：平成22年9月26日(日)

会場：未定

講師：未定

⑦テーマ：日本と世界の作業療法の動向

日時：平成22年10月4日(月)

会場：山梨川北リハビリ病院

講師：廣田 真由美 氏(石和温泉病院)

4.特設委員会(磯野)

<地域川北リハビリ委員会>

- 1)平成22年6月23日(水)地域川北リハビリフォーラムを開催。67名が参加。
- 2)平成22年7月25日(金)介助犬グループの研修会を開催予定。会場は甲州川北リハビリ病院。
- 3)「地域包括グループ」が新たに加わり、リーダーは貫井 信幸 氏(山梨県立北病院)

平成22年度7月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年7月27日(火)

会場：山梨川北リハビリ病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、中村、三瀬、佐藤、山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野；11名

1.会長(山本)

全国研修会の日程について。平成23年9月18日・19日にベルクラシック甲府にて開催。定員は500名を予定。

2.事務局(三瀬)

都道府県作業療法士会より、「訪問川北リハビリ地域リーダー育成研修会」の案内と参加申請を受託。山梨県作業療法士会からは、甲府城南病院の長坂

真由美氏を推薦予定。

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

①日 時：平成22年7月13日(火)

会 場：山梨川北リハビリ病院

講 師：山本 伸一 氏(山梨川北リハビリ病院)

参加者：53名

②日 時：平成22年9月7日(火)

テーマ：作業療法のエビデンス

講 師：丹羽 正利 氏(健康科学大学)

2)現職者選択研修

①日 時：平成22年12月12日(日)

テーマ：～就労支援～

身障領域講師：

大野 秀博 氏(山梨クリナース)

三瀬 和彦 氏(甲府城南病院)

磯野 弘司 氏(春日居川北リハビリ病院)

並木 奈緒美 先生

(ゆうき居宅介護支援事業所)

精神領域講師：

古屋 豊美 氏(山梨厚生病院)

川崎 加代 氏(住吉病院)他2名検討中

<福祉用具委員会>

第3回福祉用具委員会研修会

実践編②「車いす」

テーマ：車いすの基礎知識、適合評価の演習、事例検討等

日 時：平成22年11月6日(土)7日(日)

会 場：大木記念ホール

講 師：福祉用具委員会委員9名

3.特設委員会(磯野)

<地域川北リハビリ委員会>

平成22年7月25日(日)介助犬について研修会を開催。参加者は33名。

平成22年度8月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成22年8月31日(火)

会 場：山梨川北リハビリ病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、山田、青木、松田、工藤、磯野、関谷；13名

1.副会長(廣田・古屋)

1)健康長寿やまなし推進本部川北リハビリ部会が
開催。廣田真由美氏が会長代理として出席。

2)介護機器普及事業運営協議会が開催され、古屋
豊美氏が会長代理として出席。

2.事務局(三瀬)

現在、会費納付率85%(会員数：445名 未納
付会員：65名)会費未納会員には、当年度公費の
完納を請求予定。

3.社会局(山田・宇野)

<事業部>

テーマ：福祉の仕事セミナー

日 時：平成22年8月10日(火)

会 場：山梨県福祉プラザ

講 師：小沢 健一 氏(健康科学大学)、
山田 稔 氏(富士温泉病院)

参加者：24名

4.学術局(松田・青木・工藤)

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

①テーマ：「保健医療福祉と地域支援」

日 時：平成22年8月3日(火)

講 師：富士宮 秀紫 氏

(山梨県精神保健センター)

参加者：51名

②テーマ：「日本作業療法士における協業と
後輩の育成」

日 時：平成22年8月29日(日)

講 師：中村 雄 氏(健康科学大学)

関谷 宏美 氏(甲州川北リハビリ病院)

参加者：28名(職業倫理25名)

2)選択研修 精神分野

会 場：石和ケアハウス

講 師：加藤 智也 氏(健康科学大学)

川崎 加代 氏(住吉病院)

古屋 豊美 氏(山梨厚生病院)

5.特設委員会(磯野)

<地域川北リハビリ委員会>

平成22年7月25日(水)に、介助犬のフォーラムを開催。参加者は35名。

平成22年度9月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年9月27日(月)

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、三瀬、佐藤、長坂、青木、松田、工藤、磯野、関谷；11名

1.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

1)テーマ：口腔内における喀痰等の吸引

日時：平成22年9月16日(木)

会場：山梨県立大学

講師：遠藤 みどり 先生

(山梨県立大学 教授)

参加者：96名(参加申し込み者221名)

2)テーマ：子供たちへの発達支援

～自我発達を中心に～

日時：平成22年9月29日(水)

会場：県立青少年センター

講師：平松 洋子 氏(甲府共立病院)

参加者：参加申し込み者：100名

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

①テーマ：「エビデンスと作業療法実践」

日時：平成22年9月7日(火)

講師：丹羽 正利 氏(健康科学大学)

参加者：60名

②テーマ：「作業療法の可能性」、
「事例検討方法論」

日時：平成22年9月26日(日)

講師：鷲見 よしみ 先生

(山梨県介護支援専門員協会)

佐藤 真一 氏(健康科学大学)

参加者：25名

③テーマ：「日本と世界の作業療法の動向」

日時：平成22年10月4日(月)予定

講師：廣田 真由美 氏(石和温泉病院)

④テーマ：「事例検討と報告」

日時：2月下旬を予定

<学会運営部>

学会テーマを「挑戦～活躍の場の広がり」と専門性とし、理事会にて承認される。

2.常設委員会(関谷)

<福祉用具委員会>

1)テーマ：車椅子(仮)

日時：平成22年11月5(土)・6日(日)

会場：大木記念ホール

<作業療法コラボレーション研究会 作業療法コラボレーション2010>

主催	作業療法コラボレーション研究会
テーマ	人間作業モデルと神経リハビリテーション～症例を通じた具体的取り組みの提言～
プログラム	講演1 人間作業モデルについて 講師：野藤 弘幸 氏(浜松大学) 講演2 ポバースコンセプトについて 講師：山本 伸一 氏(山梨リハビリテーション病院) 講演3 認知神経リハビリテーションについて 講師：宮口 英樹 氏(広島大学) 企画1 ケース報告を通じたコラボレーションの実際 企画2 シンポジウム
開催日	平成22年11月28日(日)10:00～16:00
会場	日本教育会館一ツ橋ホール(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)
定員	600名(先着順)
参加費	3,500円
申込方法	参加申し込みは、1)氏名2)所属勤務先等3)連絡先をE-mailもしくはFAXにて下記の事務局までご連絡ください(要申込)。
連絡先	広島大学大学院保健学研究科作業行動探索科学研究室 宮口 英樹 FAX:082-257-5444 E-mail:otcolla2@yahoo.co.jp

ノラケノン筋電計シリーズ



朝日に驚き出すチカラ。酒井医療

簡単操作で バイオフィードバック トレーニング

酒井医療株式会社
関東第三営業所
Tel : 048-255-0451
www.sakaimed.co.jp



携帯型筋電図計測装置 マイオトレース400

わたしたちは人生を毎日楽しんでいただけるよう 3Life をサポートいたします。

<p>Life ① 生命</p> <p>「痛い」「熱い」など、生物としての感覚レベルでの適合</p> <p>お客様ひとりひとりの身体の形・機能に合った製品を心をこめて選び、作り、お選んでいます。</p>	<p>義肢装具</p> 	 <p>車いす</p>	 <p>ゲイトソリューション デザイン</p>
<p>Life ② 生活</p> <p>「食事」「睡眠」「移動」など、人間としての日常生活レベルでの適合</p> <p>さまざまな提案をすることにより、生活シーンごとに生じる問題を解決し、より快適な暮らしが出来るようお手伝いをしています。</p>	<p>PPSスイッチ</p> 	<p>コミュニケーション機器</p> 	<p>マイ Spoon</p> 
<p>Life ③ 人生</p> <p>「就職」「社会的活動」「レジャー」など、個人としての自己実現レベルでの適合</p> <p>仕事や趣味・スポーツなど色々なことにトライし、自分らしさを求めるお客さまを深い経験と高い技術力でサポートしています。</p>	<p>エアクラウドセンサー ピエゾセンサー</p> 		

川村義肢株式会社

山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188
TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

医療科学部 作業療法学科

新しいコラボレーションに挑戦!!!



医療科学部

作業療法学科 (40名)
理学療法学科・柔道整復学科





生命環境学部

アニマルサイエンス学科
生命科学科・自然環境学科



こども学部

こども学科

【上野原キャンパス】
山梨県上野原市八ツ沢2525



いのちをまなぶキャンパス
帝京科学大学
0120-248-089
入試専用ダイヤル

介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい.....

株 サンカイゴ

EST.1990 SunKaigo

中央店 中央市中橋91-1 TEL: 055-274-1152
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 TEL: 055-251-2528

やさしさ・おもいやり.....

GC (有)グットケア
GoodCare.LTD

甲府市住吉4丁目 6-24
☎055-236-6006

当社は、在宅福祉を支援する会社です。
お気軽にご相談ください。



事業内容：居宅介護支援、通所介護、訪問介護
福祉用具貸与・販売、住宅改修

新時代の
医療・福祉・心理の
スペシャリストを目指して

健康科学大学
Health Science University

理学療法学科 Department of Physical Therapy
作業療法学科 Department of Occupational Therapy
福祉心理学科 Department of Welfare and Psychology

所在地: 〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立7187
資料請求・お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240 fax.0555-83-5100
e-mail nyuushi@kenkoudai.ac.jp <http://www.kenkoudai.ac.jp/>

麻痺筋の機能回復トレーニングに — **NEW MODEL**

PAS system
Power Assist Stimulation system PASシステム GD-601
PASシステムGD-601 認証番号219AG8ZX00074000

より繊細な治療を可能にする
パワーアシストモード

筋電に応じた電気刺激を与え、随意運動をアシスト。「コップをつかむ・離す」等の日常生活に即したリハビリが行えます。

パワーアシストモード(イメージ)

電圧
時間
—— 電気刺激
—— 筋電信号

研究開発ご協力先: 慶応義塾大学 月が瀬リハビリテーションセンター
運動介助型電気刺激装置の開発と脳卒中片麻痺患者への使用経験
村岡 康裕 性 理学療法士 第31巻1号 29-35頁(2004)

デモのご希望は、下記オージー技研営業所へご連絡ください。

OG オージー技研株式会社

本社/〒703-0251 岡山市海吉1-8-3 5F TEL(086)277-7181 FAX(086)274-9072
<http://www.og-giken.co.jp/>

営業所/ 札幌 ☎(011)841-9777 横浜 ☎(019)634-0901 仙台 ☎(022)308-6477 千葉 ☎(047)458-6061 埼玉 ☎(048)585-0980 東京 ☎(03)3822-8011 神奈川 ☎(045)714-9352	新潟 ☎(025)285-0210 静岡 ☎(054)237-5711 長野 ☎(0263)40-2755 名古屋 ☎(052)587-2290 金沢 ☎(076)233-2765 大阪 ☎(06)6385-1525 神戸 ☎(078)978-1660	岡山 ☎(086)276-8384 高松 ☎(087)837-8055 広島 ☎(082)832-2788 福岡 ☎(092)712-1518 熊本 ☎(096)389-6667 長崎 ☎(095)643-5201 鹿児島 ☎(099)285-7676
--	--	--

休日受付コールセンター
☎0120-33-7181
受付時間(土・日・祝日 年末年始)
受付時間(18:00-18:00)

山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又はFAXにてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX：055-241-8660（代） TEL：055-241-5811（代）



編集後記

今シーズンはヴァンフォーレがJ1へ昇格しそうです!!残りの試合もがんばれー。ついでに、結婚しました!(な)

やっと涼しくなり、お出かけが楽しい季節になりました。おいしいものを求めてあちこち旅に出ます!(み)

食欲の秋!!の前にダイエット始めてみました。お茶の時のお菓子は天敵ですね。(内)

秋になると、財布の中は冬になります。美味しい物も、新しい服も、旅行も。。(つ)

最近、旅行に行っていないです。ゆっくり紅葉を見たり、温泉につかりたいです。(米)

今回から広報部に入りました。よろしくお願いします。(精進)

今回の精神科日よりでは宣伝を含む記事を掲載させていただきました。なかなか素敵なバンドで私も元気をもらってます。(ふ)

今年の冬は寒いとのウワサを聞きました。近々、友人と寒さのヤツについて語り合う予定です。(い)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・山本 奈央子・三枝 美和・小澤 有香・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

山梨厚生病院 〒405-0033 山梨県山梨市落合860 TEL 0553-23-1311 FAX 0553-23-0168

印刷所：エンドレス(株) 〒405-0014 山梨県山梨市上石森123 TEL 0553-22-4574